

にら 1 年 1 作連続収穫作型の実用性の実証

要約

11 月 30 日保温開始の 1 年 1 作連続収穫作型において、収穫 5 回で単収 6 t/10a 以上、収穫期間を通じた AL 率 60% 以上のおおむね良好な成績を確保できた。2 番刈りから 4 番刈りにかけて安定した収量・品質が確保できたハイパーグリーンベルトが有望であると思われた。

○ 展示のねらい

1 年 1 作連続収穫作型では、分けつ過多による品質低下が課題である。ウォーターカーテンを利用した 1 年 1 作連続収穫作型に適した茎数を検討するため、品種及び定植本数を実証展示し、にらの単収・品質に及ぼす影響について検証を行う。

○ 主な成果

11 月 30 日保温開始で、5 回の収穫量は、タフボーイ 1 粒植え区を除き 6 t/10a 以上となった。ハイパーグリーンベルト 2 粒植え区は総収量が高く、2～4 番刈りの収量が增加し、品質の低下も少なかったことから、1 年 1 作連続収穫に有望な品種であると思われた。

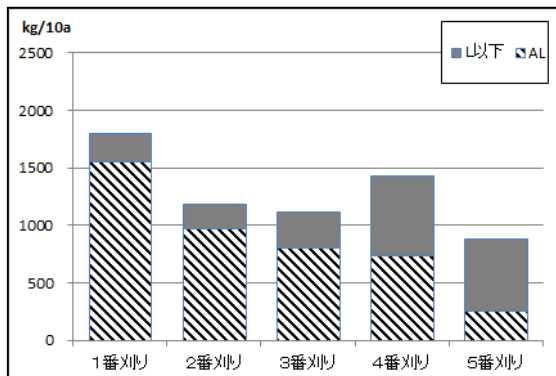


図 1 タフボーイ 2 粒植え区の収量と品質 (重量比)

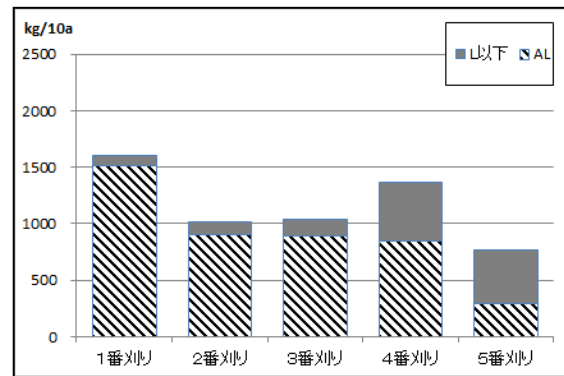


図 2 タフボーイ 1 粒植え区の収量と品質 (重量比)

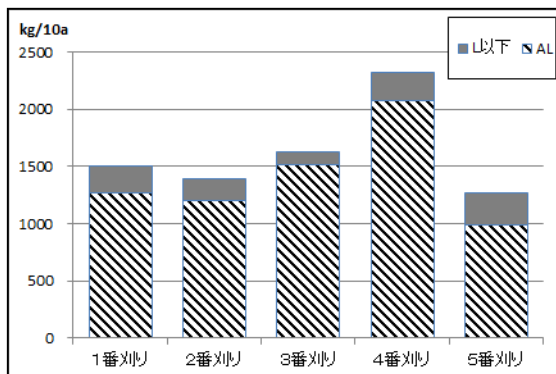


図 3 ハイパーGB 2 粒植え区の収量と品質 (重量比)

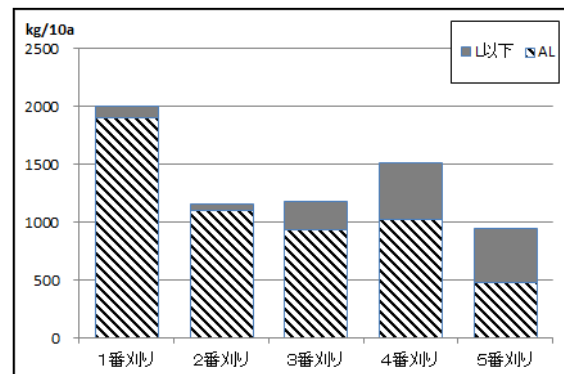


図 4 ゆめみどり 2 粒植え区の茎数および品質 (重量比)

ハイパーグリーンベルトは保温開始～1 番刈り時の茎数が少なく、茎数は徐々に増加した。2 番刈りの株疲れや受光状態悪化が他の処理区より軽微だったため、初期収量が低かったものの、収穫期間トータルでの収量や品質で優れたと推察された。

○ 今後の方向性

早期保温作型の品質確保のため、適正な分けつ数確保及び品種選定の一助とし、周年収穫の強化を図る。

実施機関： 上都賀農業振興事務所経営普及部 実施場所： 鹿沼市

問合せ先： 栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315